

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	令和3年度市営吉岐住宅新築工事	階数	地上10F
建設地	福岡県福岡市西区吉岐団地101番1	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域	平均居住人員	220 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年4月 予定	評価の実施日	2021年8月20日
敷地面積	4,397 m <sup>2</sup>	作成者	馬場 奈美
建築面積	651 m <sup>2</sup>	確認日	2021年9月2日
延床面積	5,179 m <sup>2</sup>	確認者	神川 あかね



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 91%  
③上記+②以外の 91%  
④上記+ 91%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Q のスコア = 2.8

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

**LR 環境負荷低減性** LR のスコア = 3.4

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
周辺地域との調和を図りつつ、生活利便性を高めた緑豊かな居住環境となっている。 子供達・高齢者達が安全に安心して暮らせるよう、コミュニティの充足を図り、多世代にやさしい建物となっている	0
<b>Q1 室内環境</b> F★★★★の建材を使用することによりホルムアルデヒドの発生を抑え、室内環境に配慮している。	<b>Q2 サービス性能</b> 居室の天井高2.5m以上を確保することにより、ゆとりのある空間を計画している。 また、給水・給湯の配管はさや管ヘッダーシステムの採用により、躯体や
<b>LR1 エネルギー</b> ガス給湯器を高効率型を使用することにより、建物の設備による熱負荷を軽減している。 また、LED照明を採用で設備の省エネ化を図っている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 水資源保護を考慮し、超節水型器具を採用している。 ノンフロン断熱材を使用している。
	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 周囲の環境に溶け込みやすいデザインにて計画している。 できるだけ緑地部分を設け、暑熱環境に配慮している。
	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率を抑制し、地球温暖化への配慮がなされている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される